

戦時中の陸軍大浜飛行場の将兵に扮して劇を演じる有明中
生徒＝玉名市



平和な社会 未来につなごう

玉名市・有明中1年生

戦時中の大浜飛行場 劇に

玉名市大浜町の有明中で21日、1年生が戦時中にあつた陸軍大浜飛行場について、学習した内容を創作劇にして発表。「戦争のない平和な社会を未来につないでいこう」と訴えた。

大浜飛行場は1944年に開設され、少年飛行兵の養成所や特攻機の中継基地として使用された。45年5月には米軍による2度の空襲があり、軍人や民間人に死傷者が出た。

飛行場の学習は、地域への理解を深める総合的学習「玉名学」の一つ。生徒約70人は、遺構を見学したり住民の体験を聞いたりして、地元に刻まれた戦争の歴史を学んだ。ステージでは、生徒が

(蔵原博康)